

心穏やかに、自分のペースで

楽しめる暮らし。

平成17年1月にご入居された 武藤俊子様

入院したことで体験した
細やかな心配りに満足

現役のころは、仕事に夢中だったという武藤俊子様。50代に差しかかった頃、「老後はどこで過ごせばいいのか」と色々心配された様子。「全国の老人ホームを紹介している冊子を取り寄せて検討する中で、『グランガーデン熊本』の新聞広告を目にしました。最初は、しっかりした施設であればどこでもいいと思っていましたが、『グランガーデン熊本』は、終身利用型で介護体制も万全。事業者も安心でしたが、一番大きな要因になったのは、住み慣れた熊本にあるということでした」。

入居後は、陶芸や、健康体操などのサークルに参加し、毎日を楽しんでおられる武藤さん。しかし昨年11月に腰を骨折し、入院することに。「病院の手配や搬送など、職員の皆さんに素早く対応していただきました。また、入院中は買い物や洗濯などの身の回りのことをはじめ、親身になって手伝っていただき、心置きなく治療に専念できました。入居してよかったです、心から思いましたね」とその経験を語っていただき

ました。

目下の目標は、入院のために中断していたサークル活動を再開すること。「ゴルフを装着しているのでスポーツはできませんが、そろそろ陶芸を始めようかと考えています」とお話しされる武藤さんは、全国の窯元を訪ねて旅行していたというほどの陶芸好き。「サークルにいた頃は、ろくろを使って花瓶や食器など、自分の好きなものを作っていました。でも思うようにできなくて、自信作ができるのはまだ先ですね。『グランガーデン熊本』に入ってお

友達も増え、新たな楽しみが生まれましたので、早くサークルに復帰したい」と目を細めてお話ししていただきました。

「心穏やかに、自分のペースで暮らすことが理想でしたが、ここでその暮らしが実現できました。職員の方々の対応も、入居者一人ひとりの体調や気持ちに合わせていただけるので、とても安心です」と話してくれました。

